

鳥栖市における石綿の健康リスク調査報告書（案）

平成 19 年 5 月

鳥 栖 市

鳥栖市における石綿の健康リスク調査報告書

目次

1 . 目的	2
2 . 内容	2
(1) 調査対象者	2
(2) 調査内容	2
(ア) 鳥栖市保健センターにおける確認	2
(イ) 精密診断	2
(ウ) 経過観察	3
(イ) データの解析	3
3 . 結果	3
(1) 協力者数	3
(2) 協力者の医学的所見・ばく露歴の整理	4
4 . 考察	4
5 . 今後の予定	5
6 . 参考資料	

1. 目的

一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があった鳥栖市において、石綿ばく露の可能性があったと思われる周辺住民に対して、問診、胸部X線検査、胸部CT検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無や健康影響との関係に関する知見を収集し、石綿ばく露の地域的広がりや、石綿関連疾患の発症リスクに関する実態把握を行うとともに、周辺住民への健康増進に資する。

2. 内容

(1) 調査対象者

昭和33年～61年までに鳥栖市に居住歴があり、一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性のある者を調査対象者として、市広報等により募集した。

また、鳥栖市が平成18年度に実施した肺がん検診及び17年度に実施した「石綿に関する健康相談等（健診）」（以下、「石綿健診」という。）において、「要精密検査」と診断された者（以下、「要精検者」という。）に別途案内状を送付した。

なお、上記以外の者も石綿ばく露の可能性があれば調査対象者に加えた。

(2) 調査内容

(ア) 鳥栖市保健センターにおける確認

鳥栖市保健センターにおいて、応募者に対し、保健師立ち会いの下、問診票を用いた問診を実施した。問診の結果、石綿ばく露の可能性が認められた者に対し、本調査事業の説明、調査協力に対する同意をとり、調査登録台帳に登録を行った。胸部X線検査、胸部CT検査等の精密診断を実施するに当たっては、鳥栖市が指定した医療機関への紹介状及び受診票を発行した。

一方、鳥栖市が実施した平成18年度肺がん検診及び平成17年度石綿健診における要精検者に対し、本調査事業の説明、調査協力に対して同意をとり、その後、保健師立ち会いの下、問診票を用いた問診を実施し、調査登録台帳に登録を行い、胸部X線検査、胸部CT検査等の精密診断を実施するに当たっての医療機関への紹介状及び受診券を発行した。

なお、既に他の検診を受診している者が、本調査に加わる場合については、鳥栖市保健センターにおいて、保健師立ち会いの下、問診を行い、上記と同様の手続きを行った。この時、既に胸部CT検査など精密診断を受けている場合は、本人の承諾を得て、実施医療機関より精密診断の結果等を受領した。

(イ) 精密診断

調査対象者は、鳥栖市が発行した紹介状及び受診票を指定医療機関（今村病院、古賀病院、やよいがおか鹿毛病院、国立病院機構東佐賀病院、久留米

大学病院、古賀病院 2 1) に提出し、受診した。ここでは、胸部 X 線検査、胸部 C T 検査 (原則数年に 1 回。既に他の医療機関で受診した場合はそのデータを活用し、初回時は省略。) を行った。

読影は、鳥栖市石綿健康対策専門委員会において行い、医学的所見を確認の上、次のとおり振り分け、検査の結果を調査対象者に通知した。

【医学的所見の振り分けの考え方】

石綿健康被害救済法の対象疾病となった者は、その時点で調査終了とする。

胸膜プラークの所見のみ認められる者は、経過観察とする。

石綿ばく露の可能性のある医学的所見 (以下、“所見” と略す) が認められる者のうち、医療の必要がないと判断された者は、経過観察とする。

“所見” が認められる者のうち、医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に経過観察者に含めることは妨げない。所見” が認められない者のうち、医療の必要がないと判断された者は、経過観察とする。

所見” が認められない者のうち、他の疾病により医療の必要があると判断された者は、調査終了とするが、治療終了後に経過観察者に含めることは妨げない。

上記、 、 と判断された者については、1 年後に受診勧奨を行うとともに、受診票を発行する予定である。なお、 、 の対象者については、できる限り調査対象者に同意を得た上で、治療経過等の把握に努めているところ。

(ウ) 経過観察

前記【医学的所見の振り分けの考え方】で、 、 と判断された者は、鳥栖市保健センターの指導の下、受診票の発行を受け、年 1 回指定医療機関において精密診断 (胸部 X 線検査、必要に応じ胸部 C T 検査、病理組織検査等) を受診する予定。なお、精密診断の内容及び必要性の可否は、前回の所見等を総合的に勘案して判断するものとする。

(I) データの解析

上記(ア)～(ウ)の一連の作業について、鳥栖市石綿健康対策専門委員会において、医学的な観点からの分析や検討を行った。

3 . 結果

(1) 協力者数

問診・胸部 X 線検査、胸部 C T 検査まで受診・資料提供した者 159 名

このうち、

昭和 33～61 年に鳥栖市に居住していた者	151 名
上記のうち、現在も市内に居住している者	148 名
平成 17 年度の市の石綿健康相談受診者(の重複含む)	46 名
平成 18 年度の市の肺がん検診受診者(の重複含む)	0 名
上記以外の者	8 名

の受診状況 医療機関別・・・添付 1

年齢構成別、受診内容別受診・・・添付 2

(2) 協力者の医学的所見・ばく露歴の整理

協力者の医学的所見・ばく露歴について、A～C 表に整理し、取りまとめた。

A 表 全調査対象者の一覧表(添付)

B 表 昭和 33～61 年に鳥栖市に居住していた者のばく露歴集計表
(添付)

C 表 昭和 33～61 年に鳥栖市に居住していた者のばく露歴と医学的所見・疾患のクロス集計表(添付)

D 図 ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図

4. 考察

今回の環境経路による石綿ばく露健康リスク調査において昭和 33～61 年に鳥栖市に居住していた者が 151 人受診している。そのうち石綿に起因することが明らかな、胸膜プラークの所見がある者が 26 人(17.2%)と一番多かった。この 26 人の職歴をみると、直接石綿を取り扱っていた職歴がある者が 20 人、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者が 2 人、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者が 2 人であり、その他(ばく露歴が確認できない者)が 2 人いた。

今回の調査では胸膜プラークの有所見率は、直接石綿を取り扱っていた職歴がある者が 29.0%(20/69)、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者が 10.5%(2/19)、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者が 10.5%(2/19)、職域以外で石綿取り扱い施設や吹き付け石綿の事務室などに立ち入り経験があるものが 0%(0/7)、その他(ばく露歴が確認できない者)が 5.4%(2/37)で、直接石綿を扱っていた者に多くみられた。

びまん性胸膜肥厚の所見のある者は 4 人で、すべて直接職歴があった者であり、うち 3 人は胸膜プラークの所見もあった。

肺野間質影が認められる者は 7 人で、直接職歴があった者は 4 人おり、うち 3 人に胸膜プラークの所見が認められた。また、ばく露歴が確認されない者が 2 人おり、うち 1 人は肺がんであり、今後もフォローを続ける。

腫瘤状陰影が認められる者は 7 人で、直接職歴があった者は 6 人いたが、すべて胸膜プラークの所見は認められなかった。また、残りの 1 人はばく露歴が確認さ

れない者で、肺がんであることが確認された（前出の者）。

また、ばく露歴が確認できない者のプロット図について、胸膜プラークが見られる者のプロットが2プロット(2人)あるが、所見が見られない者のプロット数と比較してもプロット数が少ないことに加え、石綿取扱い施設と一定程度の距離が認められることから、今回の調査結果から、石綿取扱い施設との関係を明確に確認することはできなかった。

5．今後の予定

次年度以降においては、諸課題の改善を図り、新規の調査対象者の募集を行うとともに、前年度受診した者については経過観察を進め、データの更なる蓄積を図っていく予定。

6．参考資料（各資料を添付）

- ・ 問診票
- ・ 指定医療機関への紹介状
- ・ 受診票
- ・ 指定医療機関名簿
- ・ 鳥栖市石綿健康対策専門委員会名簿

添付1

指定医療機関別受診者状況について

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
医療社団法人 如水会今村病院	69	45.7	40	26.5	29	19.2
古賀病院	27	17.9	14	9.3	13	8.6
医療法人清明会 やよいがおか鹿毛病院	19	12.6	12	7.9	7	4.6
独立行政法人 国立病院機構 東佐賀病院	5	3.3	2	1.3	3	2.0
久留米大学病院	10	6.6	7	4.6	3	2.0
医療法人天神会 古賀病院21	21	13.9	11	7.3	10	6.6
合 計	151	100.0	86	57.0	65	43.0

添付2

健康リスク調査受診者状況について(年齢構成別・受診内容別)

年齢区分	受診内容	合計		男		女	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
29歳以下	問診+胸部X線+胸部CT	2		1		1	
	問診+胸部X線のみ	0		0		0	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	2		1		1	
30-39歳	問診+胸部X線+胸部CT	4		3		1	
	問診+胸部X線のみ	1		0		1	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	5		3		2	
40-49歳	問診+胸部X線+胸部CT	8		4		4	
	問診+胸部X線のみ	2		1		1	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	10		5		5	
50-59歳	問診+胸部X線+胸部CT	18		8		10	
	問診+胸部X線のみ	2		1		1	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	20		9		11	
60-69歳	問診+胸部X線+胸部CT	53		30		23	
	問診+胸部X線のみ	5		3		2	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	58		33		25	
70-79歳	問診+胸部X線+胸部CT	44		26		18	
	問診+胸部X線のみ	8		5		3	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	52		31		21	
80-89歳	問診+胸部X線+胸部CT	2		2		0	
	問診+胸部X線のみ	2		2		0	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	4		4		0	
90-99歳	問診+胸部X線+胸部CT	0		0		0	
	問診+胸部X線のみ	0		0		0	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	0		0		0	
100歳以上	問診+胸部X線+胸部CT	0		0		0	
	問診+胸部X線のみ	0		0		0	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	0		0		0	
合計	問診+胸部X線+胸部CT	131		74		57	
	問診+胸部X線のみ	20		12		8	
	問診のみ(ばく露可能性なしと判断)	0		0		0	
	計	151		86		65	

平成19年3月5日現在

問診+胸部X線のみ・胸部CTは他医療機関で実施済みにより画像CD-を取得

この表は、調査協力者のうち、ばく露期間当時に居住していた者を対象として作成すること。

A表:全調査対象者の一覧表

症例番号	性別	生年(年代)	医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	経過観 察・終了	ば(露歴分類)
1	男	1940	なし	なし							オ
2	男	1950		なし							ア
3	女	1970	なし	なし							ウ
4	男	1930		c, f							ア
5	男	1950	なし	なし							ア
6	女	1930		なし							イ
7	男	1930	なし	なし							ア
8	女	1940		f							ウ
9	男	1930	なし	なし							ア
10	女	1950	なし	なし							ウ
11	男	1940	なし	なし							ア
12	男	1930	なし	なし							イ
13	女	1930		なし							ア
14	男	1930		なし							ア
17	女	1930	なし	なし							エ
19	女	1960	なし	なし							ウ
21	男	1940	なし	なし							ア
22	男	1920	なし	なし							ア
23	女	1930	なし	なし							イ

昭和33}61年の鳥栖市居住者

症例番号	性別	生年(年代)	医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	ばく露歴分類	経過観 察・終了
24	男	1960		なし						ア	
25	女	1950	なし	なし						エ	
26	女	1940		なし						イ	
27	女	1940	なし	なし						エ	
28	男	1940	なし	なし						ア	
29	女	1930	なし	なし						ウ	
30	女	1940	なし	なし						イ	
31	男	1930	なし	なし						ア	
32	女	1930	なし	なし						イ	
33	女	1930	なし	なし						オ	
35	男	1940		なし						ア	
36	男	1920	なし	なし						ア	
37	女	1940		なし						オ	
38	男	1950	なし	なし						エ	
39	男	1940		なし						ア	
40	女	1930		なし						ア	
41	男	1940		b						ア	
42	男	1930		なし						ア	
43	男	1920		なし						イ	
44	男	1930	なし	なし						ア	

昭和33(61)年の鳥栖市居住者

症例番号	性別	生年(年代)	医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	ばく露歴分類	経過観 察・終了
45	女	1950	なし	なし						オ	
46	女	1930	なし	なし						ア	
47	男	1930		b						オ	
49	男	1920	なし	なし						ア	
50	男	1940		なし						ア	
51	男	1930	なし	なし						ア	
52	男	1940	なし	なし						ウ	
53	女	1930	なし	なし						エ	
54	男	1940		なし						ア	
55	男	1940		f						ウ	
56	男	1930		なし						イ	
57	女	1930	なし	なし						ウ	
59	女	1950	なし	なし						オ	
60	男	1930	なし	なし						ア	
61	女	1940	なし	なし						オ	
62	女	1940	なし	なし						オ	
63	女	1940	なし	なし						オ	
64	女	1960	なし	なし						オ	
65	女	1950	なし	なし						イ	
66	男	1960	なし	なし						イ	

昭和33}61年の鳥栖市居住者

症例番号	性別	生年(年代)	医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	ばく露歴分類	経過観 察・終了
67	女	1920		なし						オ	
68	女	1950	なし	なし						ウ	
69	男	1960	なし	なし						ウ	
70	男	1950	なし	なし						ア	
71	男	1940	なし	なし						イ	
72	女	1930	なし	なし						オ	
73	男	1940	なし	なし						ア	
75	女	1930	なし	なし						オ	
76	女	1930	なし	なし						オ	
77	女	1940	なし	なし						オ	
78	女	1950	なし	なし						オ	
80	男	1920	なし	なし						ア	
81	男	1930		なし						ア	
82	女	1950		なし						オ	
83	男	1970	なし	なし						ア	
84	女	1920		f						イ	
85	男	1940		なし						ア	
86	女	1940	なし	なし						オ	
87	男	1960	なし	なし						オ	
89	女	1940	なし	なし						イ	

昭和33(1958)年61年の鳥栖市居住者

症例番号	性別	生年(年代)	医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	ばく露歴分類	経過観 察・終了
90	男	1960	なし	なし						ア	
91	女	1930	なし	なし						ウ	
92	女	1940	なし	なし						オ	
93	女	1960	なし	なし						ウ	
94	女	1940	なし	なし						イ	
95	女	1940	なし	なし						ア	
97	女	1940	なし	なし						イ	
98	男	1940		なし						ア	
99	女	1930		なし						ア	
100	男	1950		f						ウ	
101	女	1930	なし	なし						イ	
102	女	1920	なし	なし						オ	
104	女	1970	なし	なし						エ	
106	男	1980	なし	なし						オ	
109	女	1940	なし	なし						オ	
112	男	1940	なし	なし						ア	
113	女	1940	なし	なし						オ	
114	女	1940	なし	なし						オ	
115	男	1950	なし	なし						オ	
116	女	1940		なし						ア	

昭和33(1958)年6月の鳥栖市居住者

症例番号	性別	生年(年代)	医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	ばく露歴分類	経過観 察・終了
117	男	1930		なし						オ	
118	女	1960		なし						ウ	
119	男	1960	なし	なし						ア	
120	女	1960	なし	なし						ウ	
122	男	1940	なし	なし						オ	
123	男	1950	なし	なし						オ	
1001	男	1920	なし	なし						ア	
1002	男	1940		なし						ア	
1003	女	1950		なし						ウ	
1004	男	1930	なし	なし						オ	
1006	男	1930		なし						オ	
1007	男	1940	なし	なし						エ	
1009	男	1930	なし	なし						オ	
1010	男	1930	なし	なし						ア	
1011	男	1930		なし						オ	
1012	男	1930	なし	なし						ア	
1013	男	1930		f						ア	
1014	男	1930	なし	なし						ア	
1015	女	1930		なし						ウ	
1016	男	1950	なし	なし						ア	

昭和33(61)年の鳥栖市居住者

症例番号	性別	生年(年代)	医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	ばく露歴分類	経過観 察・終了
1017	男	1920		なし						ア	
1018	男	1930		なし						イ	
1020	男	1900		なし						ア	
1021	女	1930		なし						ウ	
1022	男	1930		なし						ア	
1023	男	1930		c						ア	
1024	男	1940		なし						ア	
1025	男	1920		なし						ア	
1026	女	1930	なし	なし						ア	
1027	男	1920	なし	なし						オ	
1028	男	1920	なし	なし						オ	
1029	女	1930		なし						ア	
1030	男	1930		f						ア	
1031	女	1930	なし	なし						ウ	
1032	男	1940		f						ア	
1034	女	1930		なし						ア	
1035	男	1930		c、f						ア	
1036	男	1930		なし						ア	
1037	男	1940		なし						ア	
1038	男	1930		なし						ア	

昭和33(61)年の鳥栖市居住者

症例番号 性別 生年(年代)			医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	ばく露歴分類	経過観 察・終了
1039	男	1940	なし	なし						ア	
1040	女	1920		なし						ア	
1041	女	1940		なし						イ	
1042	男	1920		なし						ア	
1043	男	1930	なし	なし						ア	
1044	男	1930	なし	なし						ア	
1045	男	1940		なし						ア	
昭和33(61)年の鳥栖市居住者	1046	男	1930	なし	なし					オ	
	1047	女	1930	なし	なし					ア	
	1048	男	1920	なし	なし					ア	
	1049	女	1930		なし					オ	
	1050	男	1940	なし	なし					イ	
男	86				69	29	34	19	99	終了	1
女	65										
小計	151										

対象期間以外に居住の者	15	男	1930	なし	なし					ア	
	16	女	1940	なし	なし					イ	
	18	女	1960	なし	なし					オ	
	74	男	1940		5					ア	
	105	男	1930	なし	なし					ア	
	79	男	1930		なし					イ	

症例番号	性別	生年(年代)	医学的所見	疾患名	ア.直接 職歴あり	イ.間接 職歴あり	ウ.家族 職歴あり	エ.立ち 入りあり	オ.その 他	ばく露歴分類	経過観 察・終了
110	女	1940	なし	なし						ア	
121	男	1930		なし						ア	
男	5				5	3	1	0	1	終了	0
女	3										
小計	8										

合計	159
----	-----

注1: 医学的所見は次のとおり

- 胸水貯留(良性石綿胸水)が認められる者
- 胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)が認められる者
- びまん性胸膜肥厚が認められる者
- 胸膜腫瘍の疑いが認められる者
- 胸膜下曲線様陰影の疑いが認められる者
- 肺野の間質影が認められる者
- 円形無気肺が認められる者
- 肺野の腫瘤状陰影が認められる者
- リンパ節の腫大が認められる者
- その他の所見が認められる者

注2: 疾患名は次のとおり

- a 中皮腫
- b 肺がん
- c 石綿肺(石綿に起因するじん肺であって、じん肺管理区分が管理4に該当するもの又は管理2～3で合併症を伴うもの。)
- d 良性石綿胸水
- e びまん性胸膜肥厚
- f その他の疾患

注3: ばく露歴は、該当するものに

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者や作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)

注4: ばく露歴分類は、各事案のばく露要因を1つに分類する。複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従う

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者や作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エに該当しないもの

注5: 経過観察・終了の欄は、経過観察中の場合は「空欄」、調査終了の場合は「終」

B表：昭和33～61年に鳥栖市に居住していた者のばく露歴集計表

	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家族職歴あり	エ.立ち入りあり	オ.その他	小計	うち女性
						24	1
						6	0
						2	1
						1	0
						24	8
						0	0
						0	0
						4	0
						0	0
						4	1
						2	0
						0	0
						0	0
						0	0
						2	0
						0	0
						5	3
						5	5
						0	0
						5	0
						0	0
						2	2
						2	2
						0	0
						3	2
						4	3
						11	9
						1	1
						2	2
						5	3
						37	22
計	69	29	34	19	99	151	65
うち女性	11	12	24	11	48		

縦計については重複計上

C表:昭和33～61年に鳥栖市に居住していた者のばく露歴と医学的所見・疾患のクロス集計表

(C-1 所見の有無)

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家族職歴	うち女性	エ.主に立ち入り	うち女性	オ.その他	うち女性
所見あり	58	20	36	7	7	4	7	5			8	4
胸水貯留あり	0	0										
胸膜ブランクあり	26	8	20	5	2	1	2	2			2	
びまん性胸膜肥厚あり	4	1	4	1								
胸膜腫瘍疑いあり	0	0										
胸膜下曲線様陰影疑いあり	0	0										
肺野間質影あり	7	1	4				1	1			2	
円形無気肺あり	0	0										
肺野の腫瘤状陰影あり	7	0	6								1	
リンパ節の腫大あり	1	0									1	
その他の所見あり	26	11	11	2	5	3	4	2			6	4
所見なし	93	45	33	4	12	8	12	10	7	5	29	18
合計	151	65	69	11	19	12	19	15	7	5	37	22

(C-2 疾患の有無)

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家族職歴	うち女性	エ.主に立ち入り	うち女性	オ.その他	うち女性
疾患あり	12	2	7		1	1	3	1			1	0
a 中皮腫	0	0										
b 肺がん	2	0	1								1	
c 石綿肺	3	0	3									
d 良性石綿胸水	0	0										
e びまん性胸膜肥厚	0	0										
f その他の疾患	9	2	5		1	1	3	1				
疾患なし	139	63	62	11	18	11	16	14	7	5	36	22
合計	151	65	69	11	19	12	19	15	7	5	37	22

(C-3 調査対象者の状況)

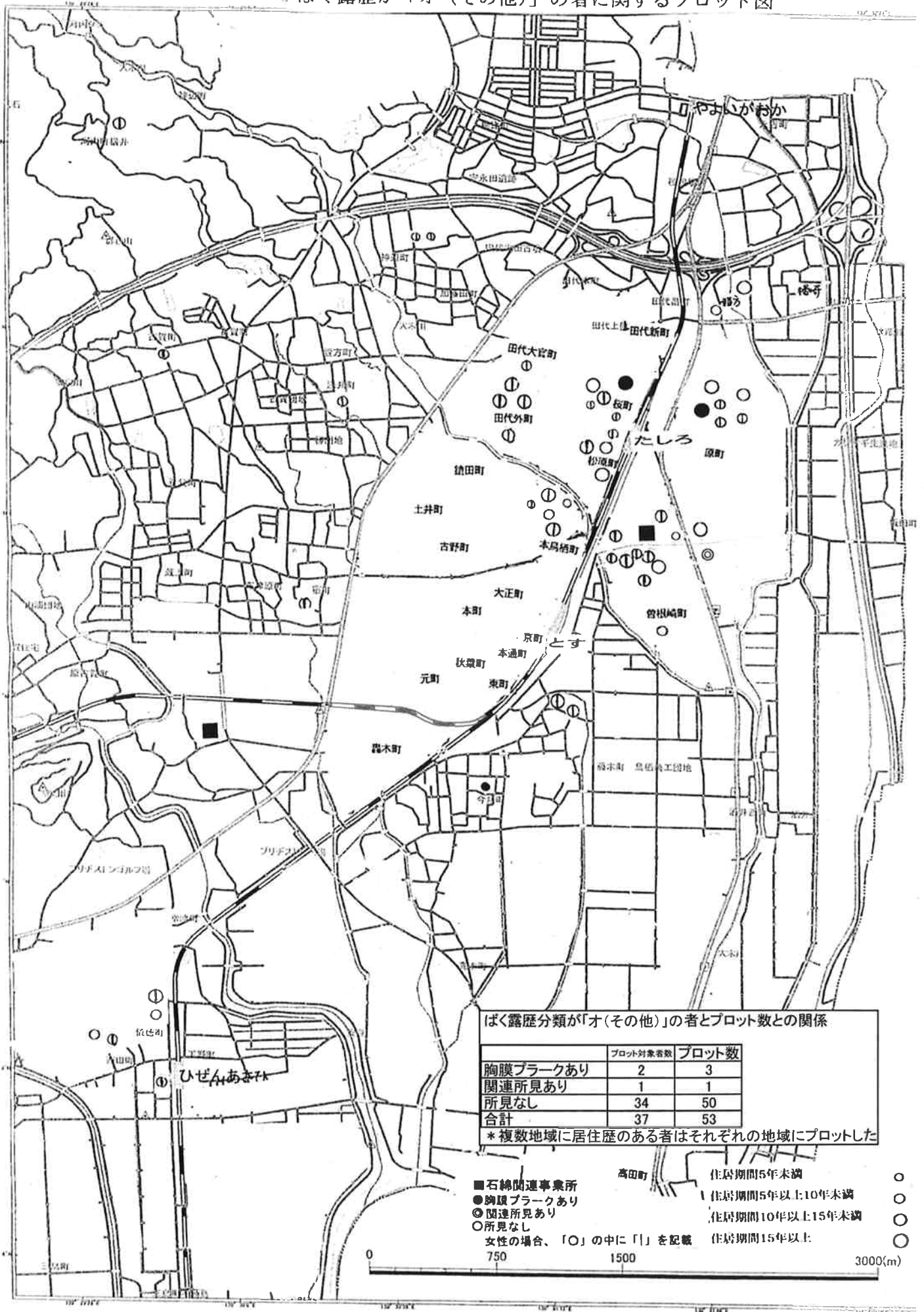
	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家族職歴	うち女性	エ.主に立ち入り	うち女性	オ.その他	うち女性
経過観察者	151	65	69	11	19	12	19	15	7	5	37	22
調査終了者	0	0										
合計	151	65	69	11	19	12	19	15	7	5	37	22

注1: ~ は重複計上含む a~fは重複計上含む

注2:ばく露歴については、A表で分類したばく露歴分類とする

注3:「所見あり」+「所見なし」=「疾患あり」+「疾患なし」=「経過観察者」+「調査終了者」=「合計」

D図 ばく露歴が「オ(その他)」の者に関するプロット図



ばく露歴分類が「オ(その他)」の者とプロット数との関係

	プロット対象者数	プロット数
胸膜ブランクあり	2	3
関連所見あり	1	1
所見なし	34	50
合計	37	53

* 複数地域に居住歴のある者はそれぞれの地域にプロットした

■ 石綿関連事業所

● 胸膜ブランクあり

◎ 関連所見あり

○ 所見なし

女性の場合、「○」の中に「|」を記載

750

高田町

住居期間5年未満

住居期間5年以上10年未満

住居期間10年以上15年未満

住居期間15年以上

1500

3000(m)

石綿ばく露健康リスク調査問診票

ID番号

太枠のみ記入してください。

フリガナ		男	生年月日	明・大・昭・平
氏名		女	年 月 日生	歳
現住所	〒 -	電話番号		

あてはまる番号や に をつけてください。また、空欄はご記入ください。

この調査は、国の石綿対策における有用な資料となります。
本調査票の内容について、国及び実施自治体において個人情報特定されない形で利用することに同意していただけますか。 同意する 同意しない

問1. この健康リスク調査を受ける理由はなんですか。(をつけてください。)

(1) 自分または家族が石綿を扱う仕事をしていた。
(2) 石綿を扱う場所の近くに住んでいた。
(3) 仕事以外で、身の回りにおいて石綿(製品、材料など)を扱うことがあった。
(4) その他()

問2. あなたのこれまでの居住歴について、右のページの「居住歴」欄に記入してください。

問3. 本人の現在までの通学歴・職歴及び石綿を扱っていたご家族の現在までの職歴を別紙調査票「本人の通学歴、本人の職歴、家族の職歴」欄に記入してください。

問4. 仕事以外で石綿を吸い込んだ可能性はありますか。
ある(その場所とその時の状況))
なし わからない

問5. 現在までに、肺の病気にかかったことがありますか。
ある → 1 肺結核 2 結核性胸膜炎 3 肺がん 4 慢性気管支炎
5 じん肺(石綿肺) 6 間質性肺炎 7 肺気腫 8 原因不明の胸膜炎
9 原因不明の胸水 10 その他の呼吸器の病気()
なし

問6. 現在、何か症状がありますか。
ある: 発熱・せき・呼吸困難・胸痛・その他()
なし

問7. 家族で石綿関連疾患にかかった人はいますか。
ある:(続柄) 中皮腫・肺がん・石綿肺・その他()
なし

問8. 喫煙の有無
現在も吸っている 1日平均 本 年間(通算 本)
過去に吸っていた 1日平均 本 年間 止めた時期 年前(通算 本)
普段は吸わないが、稀に吸うことがある(どんな時:)
吸ったことがない

問9. これまでの胸部X線検査受診の有無 1.無 2.有:時期(年 月ごろ)・医療機関名()
結果

問10. これまでの胸部CT検査受診の有無 1.無 2.有:時期(年 月ごろ)・医療機関名()
結果

問11. その他石綿ばく露があったと思われる時の周辺環境など、わかっていることがあれば記入してください。

問診者

左のページ問1.(1)(2)(3)(4)のいずれかに がついた場合お答え下さい。
受診者の家庭生活等についてあてはまる に をつけご記入ください(複数回答可)。

1	自分または家族が石綿を扱う仕事をしていた	
2	石綿製品の製造加工作業や内職が自宅であった。	年~ 年(通算 年)
3	家族が石綿関連の仕事についており、 道具や作業着、マスク等を家に持ち帰ったことがある。	年~ 年(通算 年)
4	家庭で石綿製品を使って日曜大工等をしたことがある。	年~ 年(通算 年)
5	石綿工場・鉱山の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。〔地域:(都道府県市町村名)〕	年~ 年(通算 年)
6	造船所の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。〔地域:(都道府県市町村名)〕	年~ 年(通算 年)
7	倉庫や建築材料の置場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。〔地域:(都道府県市町村名)〕	年~ 年(通算 年)
8	自動車修理工場の近くに住んでいたたり、遊んでいたことがある。〔地域:(都道府県市町村名)〕	年~ 年(通算 年)
9	幹線道路や大きな交差点の近くに住んでいたことがある。〔地域:(都道府県市町村名)〕	年~ 年(通算 年)
10	吹きつけ石綿のある建物の部屋で、過ごしたことがある。	年~ 年(通算 年) 年~ 年(通算 年)
11	工場に出入りしていたことがある。	年~ 年(通算 年)
12	その他()	年~ 年(通算 年)
13	いずれもない。	
14	わからない。	

左のページ問2.居住歴(出生時以降)についてご記入ください。

	住 所	備 考
(記入例) 昭25年 年から 昭31年	県 市 町 × ×	
年 年から 年		
年 年から 年		
年 年から 年		
年 年から 年		
年 年から 年		

問3. 別紙調査票

全受診者について記入をお願いします。(太枠のみ本人が記入して下さい。それ以外は保健師が記入します。)

これまでの通学歴、学校を卒業してから現在に至るまでの職業歴、石綿を扱っていたご家族の現在までの職業歴についてご記入願います。

(在学中のアルバイト、戦時中の仕事など短期間の仕事もできる限り、記入願います。)

本人の通学歴

	通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)		通学した時期 (年月～年月)	学校名	学校の所在地 (都道府県・市)
	(記入例) S25.4-S50.6	小学校	県市町××	4			
1				5			
2				6			
3				7			

本人の職歴

従事した時期 (年月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (以外は複数選択可)						
					業種	内容	取扱 材料	近傍 作業	出入 場所	吹付 部屋	労災 認定
(記入例) S25.4-S50.6	産業(株)	県市 町	石綿の吹き付け作業 を担当していた	(記入例) S25.4-S50.6	11	2	3	1	2	3	1
通算 年 月											

家族の職歴 (当時同居していた家族のうち、石綿を取り扱っていた方のみ記入して下さい。)

続柄 父・母 兄・姉	従事した時期 (年月～年月)	会社名	所在地	仕事の内容	この期間で石綿 を扱っていたと 思われる時期	保健師チェック欄 (以外は複数選択可)						
						業種	内容	取扱 材料	近傍 作業	出入 場所	吹付 部屋	労災 認定
	(記入例) S25.4-S50.6	産業(株)	県市 町	石綿の吹き付け作業 を担当していた	(記入例) S25.4-S50.6	11	2	3	1	2	3	1
						続柄	通算	年	月			
						続柄	通算	年	月			

石綿ばく露による健康リスク調査

紹介状

委託医療機関様

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

下記の方は、石綿ばく露の可能性があり健康リスク調査事業に同意されましたので、よろしくご高診ください。なお、ご面倒ですが精密検査の結果が判明しだい下記の結果報告書にご記入の上、胸部X線・CTフィルムのコピーと一緒にご返送ください。

フリガナ		生年	T・S	年	月	日生
氏名	(男・女)	月日				(歳)
住所	市 町 番地					

平成 年 月 日

佐賀県鳥栖市宿町1118番地

鳥栖市長 牟田 秀敏

問い合わせ先 鳥栖市保健センター TEL(0942)85-3650

結果報告書

検査実施日 平成 年 月 日

検査内容	1.X線直接撮影・CT検査	2.その他()		
胸部 X-p・CT 所見	所見なし			
	所見あり			
	1 胸水貯留	無 有()		
	2 胸膜プラーク	無 有()		
	3 びまん性胸膜肥厚	無 有()		
	4 胸膜腫瘍(疑)	無 有()		
	5 胸膜下曲線陰影など(疑)	無 有()		
	6 肺野間質影	無 有()		
	7 円形性無気肺	無 有()		
	8 リンパ節の腫大	無 有()		
	9 石灰化が認められる	無 有()		
	10 その他の所見	無 有()		
11 不明()				
総合判定	1 異常なし	2 経過観察	3 要精査()	4 要医療
確定診断名	診断名が確定した場合は記入下さい 中皮腫 肺がん 石綿肺 良性石綿胸水 びまん性胸膜肥厚 その他の疾患()			
	医療機関所在地 医療機関名 医師名			

石綿健康リスク調査精密診断依頼書兼受診票 (全額・自負担分)

受診者氏名	(ふりがな)	発行年月日	平成 年 月 日
	大正 昭和 年 月 日 (男・女)	発行番号	
住所	鳥栖市	有効期限	平成18年12月29日
精密健康診 査依頼要旨	問診より石綿曝露のリスクがあるため精査をお願いいたします。		
上記の所見により精査を依頼します。			
指定医療機関 様 平成 年 月 日 鳥栖市長 印			
診察・検査内容			
. 基本共通事項		単位	金額
A000	初診料	2,700	
	再診料	2,730	
		570	
		700	
E002	胸部X線撮影料	650	
	(デジタル加算)	600	
E001	(上記に係る診断料)	850	
後で番号記入	胸部X線画像撮影の診断料に係る管理料	580	
		870	
E200	胸部CT画像撮影料(マルチスライス型)	8,500	
	(非マルチスライス)	6,600	
E203	(上記に係る診断料)	4,500	
	胸部CT画像撮影診断料に係る管理料	580	
		870	
B009	診療情報提供料	2,500	
. 中皮腫及び石綿による肺がんが疑われた場合の事項			
D303	胸腔鏡検査料	60,000	
L008	麻酔料(マスク又は挿管)	61,000	
L009	麻酔管理料	7,500	
D101	病理組織検査(検査料)	8,800	
D101の2	" (免疫抗体組織加算料)	3,500	
D104	" (病理診断料)	4,100	
	" (病理判断料)	1,460	
D419	胸水の採取(胸水採取料)	1,100	
	" (病理学的検査判断料)	1,460	
D102の2	" (細胞診検査料)	1,900	
D302	気管支鏡(BAL含む)	17,000	
	経皮的針生検法	14,500	
	経気管肺生検法	31,000	
. その他			
実費として別 請求がほしい が	胸部X線フィルム・コピー代(半切)	@ × 枚	
	胸部CTフィルム・コピー代(半切)	@ × 枚	
合 計			円
自己負担分(請求金額)			円
鳥栖市長 あて 精密診断に要した診療報酬点数及び請求額は、上記のとおりです。 平成 年 月 日 所在地 名称 代表者			

レセプトを添付してください。
請求分はレセプトにマーカーで印を付けて下さい。

指定医療機関名簿

病院名	住所
医療法人 社団如水会今村病院	〒841-0061 鳥栖市轟木町 1523-6
古賀病院	〒841-0033 鳥栖市本通町 1 丁目 855-10
医療法人清明会 やよいがおか鹿毛病院	〒841-0005 鳥栖市弥生が丘 2 丁目 143 番地
独立行政法人 国立病院機構東佐賀病院	〒849-0101 みやき町大字原古賀 7324
久留米大学病院	〒830-0011 久留米市旭町 67 番地
医療法人天神会 古賀病院 2 1	〒839-0801 久留米市宮ノ陣 3-3-8

鳥栖市石綿健康対策専門委員会（読影会）委員名簿

	氏 名	役 職
1	工藤 祥	佐賀大学医学部放射線医学部 教授 (佐賀県佐賀県成人病検診管理指導協議会肺がん部会会長)
2	森永 謙二	独立行政法人労働安全衛生総合研究所産業医学総合研究所(川崎支部) 環境計測管理研究グループ部長
3	加藤 収	佐賀社会保険病院長
4	林 真一郎	佐賀大学医学部内科学講座呼吸器内科 助教授
5	荒井 澄夫	今村病院 健康管理センター長 (鳥栖市指定医療機関)
6	古賀 真貴子	古賀病院 内科医長 (鳥栖市指定医療機関)
7	枝國 信三	やよいがおか鹿毛病院 (鳥栖市指定医療機関)
8	小江 俊行	国立病院機構東佐賀病院呼吸器科医長 (鳥栖市指定医療機関)
9	古賀 丈晴	久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門 助教授 (鳥栖市指定医療機関)
10	宮川 洋介	医療法人天神会 古賀病院21副院長 (鳥栖市指定医療機関)
11	古川 次男	杵藤保健福祉事務所保健監